

平成20年12月22日

各位

上場会社名 株式会社 カワサキ  
 代表者 代表取締役社長 川崎 治  
 (コード番号 3045)  
 問合せ先責任者 取締役管理部長 大下 実  
 (TEL 072-439-8011)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年10月27日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年8月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年9月1日～平成21年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,640	134	△154	107	81.44
今回発表予想(B)	1,425	74	△729	△235	△178.87
増減額(B-A)	△215	△60	△575	△342	――
増減率(%)	△13.1	△44.8	――	――	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年8月期第2四半期)	1,326	156	27	16	11.63

平成21年8月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年9月1日～平成21年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,290	240	△36	167	127.11
今回発表予想(B)	2,848	107	△728	△243	△184.96
増減額(B-A)	△442	△133	△692	△410	――
増減率(%)	△13.4	△55.4	――	――	――
(ご参考)前期実績 (平成20年8月期)	2,927	234	242	186	137.52

平成21年8月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年9月1日～平成21年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,282	170	△127	99	75.35
今回発表予想(B)	1,147	123	△682	△227	△172.78
増減額(B-A)	△135	△47	△555	△326	――
増減率(%)	△10.5	△27.6	――	――	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年8月期第2四半期)	1,234	163	36	20	15.14

平成21年8月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年9月1日～平成21年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,510	297	15	186	141.58
今回発表予想(B)	2,210	191	△648	△207	△157.56
増減額(B-A)	△300	△106	△663	△393	――
増減率(%)	△12.0	△35.7	――	――	――
(ご参考)前期実績 (平成20年8月期)	2,404	244	241	178	131.42

## 修正の理由

## 1. 第2四半期連結累計期間連結業績予想及び累計期間個別業績予想修正の理由

当第1四半期連結会計期間における世界の経済情勢は、金融恐慌を思わせる深刻な情勢となりました。このような状況下において消費マインドは著しく低下し、当社及び当社グループの売上高は前年比減少しております。また、当社は輸入取引に係る為替変動のリスクを軽減するため通貨・クーポンスワップ及び通貨オプションの「包括的長期為替予約」を行っております。

当社が行っている「包括的長期為替予約」は実需に対応し、仕入コストの安定化のため実施しており、投機目的によるものではありませんが、ヘッジ会計の要件を満たしていないため、期末ごと時価評価した上で損益処理しております。本日付の「平成21年8月期第1四半期会計期間末の「包括的長期為替予約」の評価損に関するお知らせ」とおり当第1四半期会計期間決算(連結・個別)に「包括的長期為替予約」の評価損782百万円を営業外費用(為替差損)に計上いたします。

第2四半期会計期間末の為替レート(対ドル円、対ユーロ円)が第1四半期会計期間末の為替レートと同一と想定すると第2四半期累計期間決算(連結・個別)においても「包括的長期為替予約」の評価損約782百万円を営業外費用(為替差損)に計上することになりますので、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益とも前回予想を下回る見込みであります。なお、前回予想において、為替差損の増加約250百万円を見込みましたので経常利益の減少額はその分減少しております。

## 2. 通期連結業績予想及び通期個別業績予想修正の理由

第2四半期連結累計期間連結業績予想及び累計期間個別業績予想修正の理由と同一であります。

当会計年度末の為替レート(対ドル円、対ユーロ円)が第1四半期会計期間末の為替レートと同一と想定すると当会計年度決算(連結・個別)においても「包括的長期為替予約」の評価損約782百万円を営業外費用(為替差損)に計上することになりますので、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回予想を下回る見込みであります。なお、前回予想において、為替差損の増加約250百万円を見込みましたので経常利益の減少額はその分減少しております。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上